

# AWC活動年表

1992-2015

- 1992年10月 「日米軍事同盟と日本軍の海外派兵に反対する10月国際会議」が日本（大阪および東京）で開催される。12ヶ国・地域の民衆団体が参加。日米軍事同盟と自衛隊の海外派兵に反対するアジア・キャンペーン（略称：AWC）の設立が決議される。引き続き、第一回CCB会議を開催。
- 1993年10月 第二回CCB会議を開催（於：日本・東京）。
- 1995年5月 フィリピン・マニラでの国際連帯集会（ISA）に各国・地域から参加。あわせて、第三回CCB会議を開催。
- 10月 AWC第二回総会を日本・京都で開催。8ヶ国・地域の民衆団体が参加。名称を「米日のアジア支配・侵略に反対するアジア・キャンペーン」に変更。総会に引き続き、第四回CCB会議を開催。
- 1996年11月 APECマニラ会議に反対してBAYANが呼びかけた「帝国主義グローバリゼーションに反対する民衆会議」および「APECに反対する民衆キャラバン」に各国・地域から参加。あわせて、第五回CCB会議を開催（於：フィリピン・マニラ）。
- 1997年11月 台湾・台北にて第六回CCB会議を開催。「米日新ガイドラインに反対する共同声明」を発表。この年の秋、アジア通貨危機が勃発する。
- 1998年11月 マレーシアAPECに反対して取り組まれた「アジア太平洋民衆会議」と抗議行動に参加。あわせて、第七回CCB会議を開催（於：マレーシア・クアラルンプール）
- 1999年7月 台湾労働党結成10周年記念行事として台湾・台北で開催された国際シンポジウム「新たな世紀に向けた米日帝国主義に対するアジア人民の運動の展望」に各国・地域から参加。
- 11月 インドネシア・ジャカルタで「帝国主義に反対するアジア太平洋会議」を開催。これを第八回CCB会議とする。インドネシアでは実行委員会が結成され、この会議が準備された。
- 2000年7月 G8沖縄サミット反対闘争に各国・地域から参加
- 11月 韓国・ソウルでの「6・15南北共同宣言実践と米軍撤去・新自由主義反対 国際大会」（主催・AWC韓国委員会）に各国・地域から参加。あわせて、第九回CCB会議を開催。

- 2001年6月 日本での歴史歪曲教科書の採用に反対する声明を台湾、韓国、日本の参加団体が連名で発表。
- 11月 第十回CCB会議を日本・京都で開催。9・11事件に対する「報復」と称した米国のアフガニスタン侵略戦争を弾劾する「アジア太平洋民衆反戦平和共同宣言」を採択。このとき、インターナショナルANSWERが米国から初めてAWCの活動に参加。  
第八回CCB会議で決議され以後取り組まれてきた「日米安保・新ガイドラインと東アジア米軍10万人体制に反対し、アジアから米軍基地の撤去を要求するアジア共同署名」を在日米大使館・日本内閣府に提出。
- 2002年7月 BAYANなどフィリピン民衆団体が国際的に呼びかけた「米国のフィリピン軍事介入に反対する国際連帯ミッション」に各国・地域から参加。米比合同軍事演習バリカタンへの抗議行動を共にする。
- 2003年3月 米国などによるイラク侵略戦争が勃発。以降、米軍・多国籍軍のイラクからの撤退と占領の中止を要求し、各国・地域でイラク反戦運動に取り組む。
- 2004年6月 韓国・ソウルでの世界経済フォーラム東アジア会議反対闘争に各国・地域から参加。あわせて、「米・日軍事覇権主義・新自由主義反対、韓半島平和と自主統一のための国際会議」（主催：民主労総、民主労働党、AWC韓国委員会）に参加。  
あわせて、第十一回CCB会議を開催。
- 2005年11月 APEC釜山会議反対闘争に各国・地域から参加。同時に、米軍基地拡張反対闘争の渦中にあったピョンテク現地にて、「米軍基地撤去、戦争と新自由主義グローバリゼーションに反対する国際平和フォーラム」を開催。また、韓米首脳反対闘争にも参加（その翌日には日本でAWC京都などが日米首脳会談反対闘争）
- 12月 香港でのWTO関係会議反対闘争に各国・地域から参加し、WTO香港民衆連盟（HKPA）やILPS（国際民衆闘争同盟）をはじめとするアジア・世界の民衆団体とともに闘う。  
同時に、第十二回CCB会議を「アジア民衆の反帝国主義闘争の展望」をテーマとした公開フォーラムとして開催。
- 2006年11月 日本・岩国で「アジアから米軍総撤収を求める岩国国際集会」（主催：AWC日本連）が開催される。岩国基地の拡張・強化に反対し、アジアからの米軍の総撤収を要求する集会・デモに各国・地域から参加する。  
あわせて、第十三回CCB会議を開催（於：日本・山口）
- 2008年3月 激発する米兵による女性への性暴力事件に対して、「相次ぐ米兵による性暴力事件を弾劾するアジア共同声明」を発表。

- 7月 G8洞爺湖サミット反対闘争（於：日本・北海道）に各国・地域から参加。
- 8月 米軍基地拡張反対闘争の渦中にある韓国・ムゴン里にて、平和と統一を開く人々、民主労総、民主労働党と共に、「アジア駐屯米軍撤収と朝鮮半島平和協定実現のための東アジア民衆平和会議」を共催。
- 2009年9月 AWC第三回総会を開催（於：日本・京都）
- 2010年11月 横浜APECに反対する共同闘争に各国・地域から参加。その後、日本・横須賀で第十四回CCB会議を開催。
- 2011年8月 AWC韓国委員会とAWC日本連は、チェジュ海軍基地建設反対汎道民対策委、民主労総チェジュ本部とともに、韓国・チェジュ島で、「帝国主義と軍事基地反対、新自由主義反対、非正規職撤廃、韓日共同国際フォーラム」を開催。
- 2012年1月 第十五回CCB会議を韓国・ソウルで開催。あわせて、チェジュ海軍基地建設反対闘争の現場に連帯訪問。
- 2013年3月 第十六回CCB会議を台北で開催。あわせて、フォーラム「米日軍事同盟とアジア太平洋の反帝人民運動」を開催し、在台湾アメリカ協会に対する共同抗議行動を実施。
- 7月 フィリピン・マニラで開催された「米国のアジア太平洋への戦略的回帰、ミリタリズム、介入、戦争に関する国際会議」を「基地をなくせ！ネットワーク」（Ban the Bases! Network）などの国際団体と共に共催。
- 2014年4月 米国・オバマ大統領のアジア歴訪に対して、関係国団体で国際共同声明「アジア太平洋地域の民衆はオバマのアジア歴訪を拒絶する！」を発表。韓国、日本、フィリピンで連続した抗議行動が取り組まれる。
- 5月 第十七回CCB会議を韓国・ソウルで開催。あわせて、米日大使館に対する共同抗議行動を実施。
- 2015年6月 国際共同声明「アジア太平洋地域の民衆は日本の新安保法案に反対する！」を発表。各国・地域で日本での戦争法制反対闘争に連帯する様々な取り組みが行われた。

原文作成2009年5月／更新2016年2月

AWC国際事務局